HITACHI
Inspire the Next

取扱説明書

保証書別添付

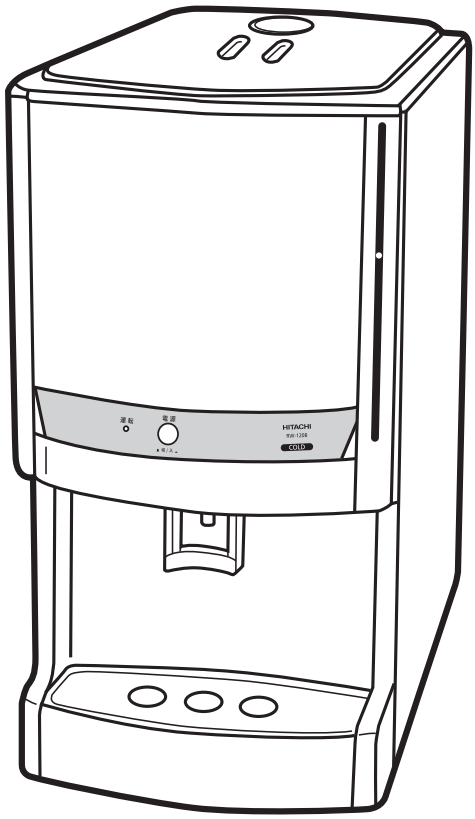
日立ウォータークーラー 屋内用 / 業務用

冷水専用タイプ

型式

RW-1210B（アールダブリュー ビー）

RW-189B（アールダブリュー ビー）



（RW-1210B型）

このたびは、**日立ウォータークーラー**をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。
お読みになったあとは、保証書とともに大切に保存してください。

「安全上のご注意」➡ P.2～3 をお読みいただき、正しくお使いください。

この製品には地球温暖化係数（GWP）が1430のフロン類が封入されています。地球温暖化防止のため、修理・廃棄等にあたってはフロンの回収が必要です。

【冷媒の「見える化」表示について】
この表示は、本製品に温暖化ガス（フロン類）が封入されていることを、ご認識いただくための表示です。

目　次

●**安全上のご注意**…… 2～3
- ●据え付け上の注意事項　●使用上の注意事項
- ●修理時の注意事項

●各部の名称と働き…… 4

●据え付けについて…… 5
- ●据え付け場所について　●放熱のためのすき間について
- ●アース接続について

●お使いになる前に…… 6～7
- ●取水弁カバー、水位計カバーのはずしかた、取り付けかたについて
- ●タンク内の洗浄　●タンク内の飲物を排出するとき
- ●冷却する飲物について　●排水方法について
- ●こんなことにもご注意を

●ご使用方法…… 8

●お手入れと点検について …… 9～10

●長期間お使いにならないときは…… 10

●サービスを依頼されるときは…… 11

●保証とアフターサービス …… 12

●仕　様 …… 13

●別売品 …… 13

●お客様ご相談窓口…… 16

日本国内
Use only in Japan

安全上のご注意

お使いになる人や、ほかの人への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを、次のように説明しています。また、本文中の注意事項についてもよくお読みのうえ、正しくお使いください。

■ここに示した注記事項は、表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠警告	「死亡または重症を負うことが想定される」内容です。
⚠注意	「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。

絵表示の例
⚠「警告や注意を促す」内容のものです。
⃠ してはいけない「禁止」内容のものです。
❗ 実行していただく「指示」内容のものです。

■据え付け上の注意事項

⚠警告

厳守	**床が丈夫で水平なところに確実に据え付けてください。** 転倒・落下によるケガなどの原因になることがあります。
水ぬれ禁止	**水のかかる場所や湿気の多い場所には据え付けないでください。** 絶縁が悪くなり、漏電し感電や火災の原因となります。
アース設置	**アースを確実に取り付けてください。** 故障や漏電の時、感電の原因になることがあります。 アース工事は、必ず販売店または専門業者に依頼してください。
厳守	**定格 15A 交流 100V のコンセントを単独で使ってください。** 他の器具と併用すると、分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。

⚠注意

厳守	**専用の漏電しゃ断器を設置してください。** お買上げの販売店または専門業者に依頼してください。漏電しゃ断器が取り付けられていないと感電の原因になることがあります。
禁止	**油・可燃性ガスの漏れるおそれがある場所への設置は行わないでください。** 万一漏れてウォータークーラーの周辺に溜ると、発火の原因になることがあります。

■使用上の注意事項

⚠警告

禁止	**電源コードや電源プラグがいたんだり、コンセントの差込みがゆるいときは、使用しないでください。** 感電・ショート・発火の原因になることがあります。
厳守	**電源プラグはコンセントに刃の根元まで確実に差込み、ほこりが付着しないよう定期的に清掃してください。** 異常発熱や火災の原因になることがあります。
禁止	**電源プラグをウォータークーラーの背面で押し付けないでください。** 電源プラグを傷付け、感電や火災の原因になることがあります。
ぬれ手禁止	**濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。** 感電の原因になります。
水ぬれ禁止	**本体に水をかけないでください。** 電気部品に水がかかると感電や火災の原因になります。

■使用上の注意事項（つづき）

⚠警告

禁止
定格電圧（単相100V）以外で使わないでください。
定格電圧以外の電圧で使用すると、感電や火災の原因になることがあります。

禁止
製品の上に乗ったり、物を載せたりしないでください。
転倒・落下によりケガや破損の原因になることがあります。

禁止
可燃性スプレーを近くで使わないでください。
電気接点のスパークで引火するおそれがあります。

厳守
可燃性ガスなどのガス漏れがあったときには、ウォータークーラーやコンセントには手を触れず、窓を開けて換気してください。
引火爆発し、火災ややけどの原因になることがあります。

プラグを抜く
焦げ臭いなどの異常がある場合は、運転を停止して電源プラグを抜き（またはブレーカーを“OFF”にして）、すぐにお買い上げの販売店または、お客様ご相談窓口に点検・修理を依頼してください。
異常のまま運転を続けると故障や感電・火災の原因になります。

接触禁止
空気吐出口や空気吸込口に指や棒などを入れないでください。
内部でファンが高速回転しておりますので、ケガの原因になります。
吹出口や吸込口に触らないでください。端面で指をケガするおそれがあります。

禁止
給水時に水を溢れさせないでください。
電気部品に水がかかり漏電し、感電・火災の原因になります。

⚠注意

禁止
電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重い物を載せたり、挟み込んだり、加熱したりしないでください。
電源コードが破損し、感電や火災の原因になります。

プラグを抜く
電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。
感電やショートして発火することがあります。

厳守
タンク内の水は必ず毎日入れ替えてください。
水が腐敗する原因となることがあります。

厳守
給水源に貯水槽や浄化装置がある場合は、水質にご注意ください。
雑菌により健康を害するおそれがあります。

禁止
牛乳など腐敗するおそれのある飲料は入れないでください。
健康を害するおそれがあります。

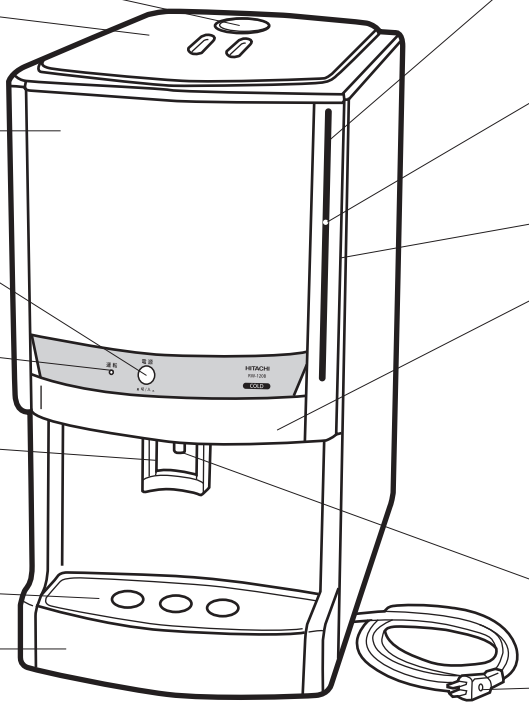
厳守
長期間ご使用にならない時は、必ず排水し電源プラグをコンセントから抜いてください。
水の腐敗や絶縁劣化による感電や漏電、火災の原因になります。

■修理時の注意事項

⚠警告

分解禁止
修理技術者以外の人は、絶対に分解したり、修理・改造は行わないでください。
発火したり、異常動作して、ケガをすることがあります。

各部の名称と働き



■給水口ふた

■上ふた
飲物をホコリから守ります。

■前カバー

■電源スイッチ
１回押す毎に“入”、“切”をくり返します。

■運転ランプ
運転中点灯します。

■取水レバー
押すと、飲物が取り出せます。

■コップ受け

■排水受け
あふれた飲物をためて、捨てます。

■水位計
飲物の残量を示します。

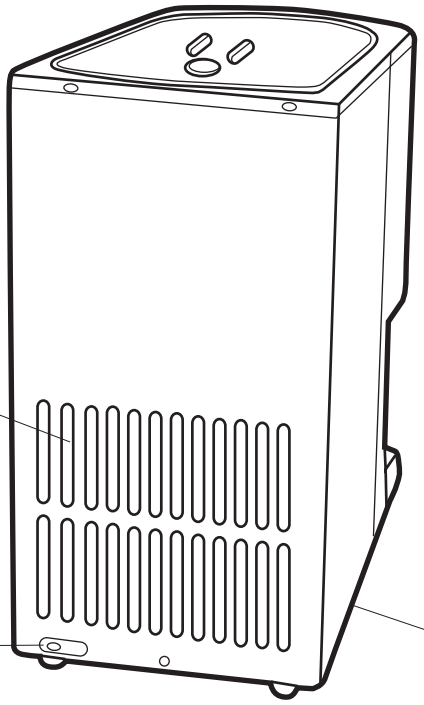
■ボール
“給水”位置が飲物の補給の目安です。

■水位計カバー

■取水弁カバー
内部に、取水弁があります。
（お手入れ時にはずします。）

■取水口

■電源プラグ



■空気吐出口

■アース接続ねじ

■空気吸込口
（底面）

据え付けについて

据え付けにあたっては、ウォータークーラーの質量に十分耐える場所を選ぶとともに、転倒すると危険ですので丈夫で、しっかりした台に置いてください。なお、アースは感電防止のため必ず設置してください。

据え付け場所について

1　床が丈夫で水平なところ

●据え付けが不安定ですと、振動や騒音の原因になります。また、正常に動作しないおそれがあります。

2　熱気の少ないところ

●直射日光やコンロなどの熱影響を受けますと、冷却力が弱くなります。

●周囲温度30℃以下のところに据え付けてください。なお、35℃まではご使用になれますが、冷却力が弱くなります。

3　湿気の少ないところ

●湿気の多いところや、水のかかるところに据え付けますと、絶縁が悪くなったり、さびたりするおそれがあります。

4　据え付け面が濡れても差し支えないところ

●湿気が高いときは配管などの表面に露がつき滴下することがあります。

5　排水しやすいところ

⚠警告

●水のかかる場所や湿気の多い場所には据え付けない。
絶縁劣化による感電･漏電･発火の原因になります。

●床が丈夫で水平なところに確実に据え付ける。
据え付けに不備があると水漏れ、転倒、落下によるケガなどの原因になることがあります。

⚠注意

●周囲温度が0℃以下になり凍結するおそれのある場所へは据え付けない。
周囲温度が0℃以下になり凍結するおそれがあるときは必ず水抜きをしてください。
給水管の破損により水漏れし、周囲（家財など）を濡らす原因になることがあります。

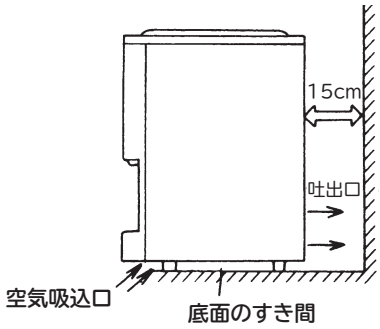
●据え付け面が濡れても差し支えないところに据え付ける。
給排水の水漏れや、結露水の発生から周囲（家財など）を濡らす原因になることがあります。
電気器具やコンセント等に水が掛かると、感電や火災の原因になることがあります。

●焼肉・お好み焼きなどの飲食店や、調理場付近では直接油煙（オイルミスト）を吸い込まない位置に据え付けてください。
油分などが付着すると、プラスチック部分に亀裂が生じたり熱交換器などの金属部品が腐食するおそれがあります。

放熱のためのすき間について

ウォータークーラーの背面は図のように15cm以上のすき間をあけてください。すき間をあけないと冷却力が弱くなり、電気代のむだにもなります。また側面は、共振音が出ないよう壁と製品の間を少しあけてください。

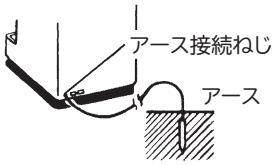
●図の「底面のすき間」には物などを入れないでください。放熱がわるくなります。



アース接続について

●万一、漏電した場合の感電防止と機械の保護のために必ず正しいアースをしてください。アースはD種接地工事（電気設備基準で定める接地抵抗 100 Ω以下のもの）が必要です。お買い求めの販売店にご相談ください。

●アース線は背面にあるアース接続ねじに接続してください。



⚠警告

●アース工事を必ず行う
アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。
アースが不完全な場合は、感電の原因になります。
アース工事は必ず、販売店または専門業者に依頼してください。

お使いになる前に

取水弁カバー･水位計カバーのはずしかた､取り付けかたについて

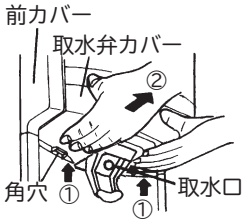
取水弁カバーは次のようなときにはずします 。
●お手入れをするとき ➡ P.9

取水弁カバーのはずしかた、取り付けかた

はずしかた

①図のように取水弁カバーの底面を持ち上げて、底面奥の爪 2 個を前カバーの角穴からはずします。

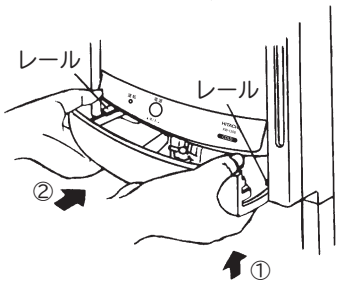
②そのまま手前に引き出します。



取り付けかた

①前カバーの左右のレールの下側に取水弁カバーを押し当てながら、まっすぐ後方へ押し込みます。

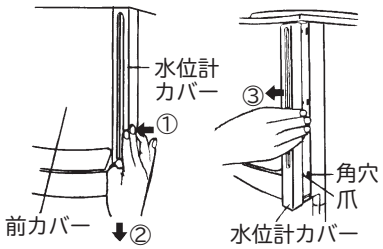
②取水弁カバーの爪 2 個を前カバーの角穴に確実に入れます。



水位計カバーのはずしかた、取り付けかた

はずしかた

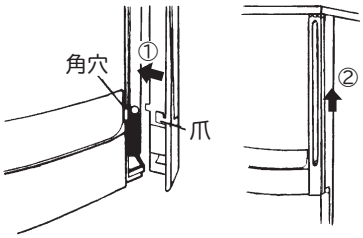
①図のように水位計カバーに手をかけます。
②水位計カバーの側面中央部を押しながら下にずらします。
③そのまま手前に引き出します。



取り付けかた

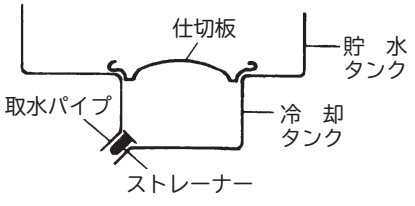
①水位計カバーの爪（5 個所）を前カバーの角穴の下端に合わせて挿入します。

②“カチッ”と音がするまで上にスライドさせます。



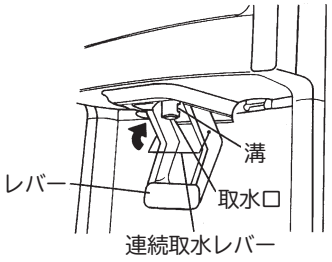
タンク内の洗浄

①輸送用テープをはずし、タンク内の仕切板、ストレーナーを取り出し、タンク内を水道水で洗浄します。
②仕切板、ストレーナーを洗浄し、タンク内に正しく取り付けます。



タンク内の飲物を排出するとき

●レバーを押しながら、連続取水レバーを矢印の方向に持ち上げて取水口の溝にセットします。
●レバーを再度押すと、連続取水レバーがはずれます。



冷却する飲物について

入れてよい飲物

●飲料水
●麦茶など
●果汁飲料（粘度の低いジュース）
●殺菌乳酸菌飲料

ご注意

麦茶などは茶こしなどでこしてから入れてください。また、飲料水以外の飲物をご使用の場合は悪臭、水漏れなどの原因になりますので、タンク、仕切板、ストレーナー、取水弁、排水受けを毎日お手入れしてください。（お手入れのしかたは ➡ P.9 ）

入れてはいけない飲物

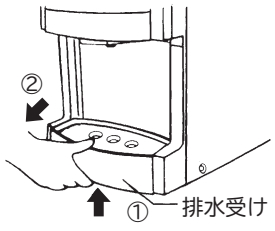
●腐敗しやすいもの（牛乳など）
●塩分を含むもの（そばつゆ・みそ汁など）
タンクの腐食原因になります。
●果肉飲料など粘度の高いもの（ネクター・トマトジュースなど）
対流しにくいので冷えが遅くなります。
●炭酸飲料（サイダー・コーラなど）
気が抜け味が落ちます。またタンクの腐食原因にもなります。
●その他固形分が混入している飲物
取水弁などのつまりの原因になります。

排水方法について

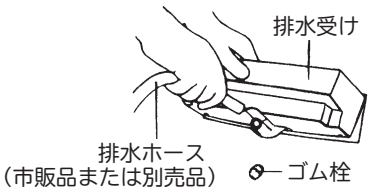
連続排水する場合

連続排水する場合は、次の手順で排水ホースを接続します。排水ホースは市販のビニールホース（内径 14 ～ 15mm）、または別売の排水ホースをご利用ください。（別売の排水ホースは ➡ P.13 ）

①排水受けを持ち上げて手前に引き出します。



②排水受けのゴム栓を抜いて排水ホースを確実に接続し本体にセットします。



排水受けにためる場合

●ゴム栓を抜かず、そのままお使いください。
●排水受けが満水（約 1 ℓ）になったらそのつど捨ててください。

ご注意

●このウォータークーラーは、内部の結露水を排水受けに導くようになっていますので、排水受けにためてお使いの場合は、溢れないようこまめに捨ててください。
●連続排水する場合、排水ホースを背面に向かってひき、長さ 30cm 以上下方にたらしてください。また、排水ホースの途中に高低差をつけたり、先端を水中に入れないようにしてください。

こんなことにもご注意を

いったん運転を停止したら

いったん停止したあと、運転を開始するまで 3 分以上間をおいてください。すぐに運転を開始しますと運転がうまく行われず、ガタガタ音がすることがあります。万一そのような状態になったときは、すぐに運転を停止させ、3 分以上間をおいてから再び運転を開始すれば正常に運転します。

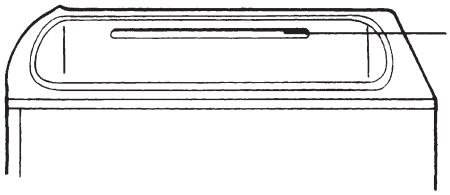
ご使用方法

1　飲物を入れる

上ふたをあけて、飲物を入れます。別売の給水継手を利用することができます。(別売の給水継手は ➡ P.13)

ご注意

飲物は、水位計の赤ボールを見ながら入れ、“満水”位置以下でとめます。タンク内にも、“満水”表示用の刻印があります。飲物は、“満水”位置より上に入れないでください。



2　電源スイッチを押す

電源プラグをコンセントに挿入し、電源スイッチを押し、“入”にします。運転ランプが点灯し、運転を開始します。

飲みごろの温度になるまでの時間

飲物の冷却

30℃→ 約10℃　…　約30分

●温度は冷却タンク内の水温を示します。

3　飲物の取り出しかた

取水レバーに“コップ”を沿わせ、軽く押すと飲物を取り出せます。

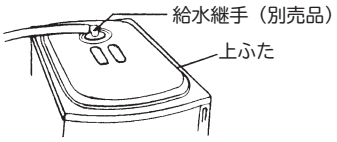
給水継手を使い給水する場合

●内径 15mm の市販のビニールホースをご利用ください。

ホースは飲料水用(食品衛生法適合品)で、においの少ないものをお選びください。

●“給水口ふた”を左にまわしてはずし、ホースを接続した給水継手を取り付けて給水してください。

●給水後は給水継手をはずして、“給水口ふた”を“上ふた”に取り付けてください。



ご注意

●タンク内のストレーナー、仕切板を取りはずしたままで、お使いにならないでください。
●熱い飲物を冷やすときは、室温程度までさましてから、タンク内に入れてください。
●飲物を補給するときは、必ず仕切板を付けたまま補給してください。
●周囲温度やタンク内の飲物の量により、冷却タンク内表面に円筒状の氷ができることがありますが故障ではありません。
●別売の給水継手を使って給水するときは、元の蛇口を徐々にあけてください。上ふたがずれて水が飛散することがあります。

衛生的にお使いいただくために

衛生的にお使いいただくために次のことを心がけてください。

■タンク内の飲物は毎日取り替えてください。

衛生的にご使用いただくため毎日飲物を取り替えてください。
水道水の場合でも、長い時間ためておきますとカルキ分がとんで腐敗しやすくなりますので、つぎたしはしないでください。特に夜間または休日などに電源を切る場合には必ず守ってください。

■こまめにお手入れしてください。

タンク内・タンク上面・上ふた・ストレーナー・取水弁・水位計・排水受けなどの流水径路は、不純物が付着しがちです。いつもお手入れをして清潔にしておくよう心がけてください。(お手入れのしかたは ➡ P.9 ～ 10)

●タンクは耐食性のよいステンレスを使用しておりますが、長くご使用になりますと不純物が付着し、さびたように見えることがあります。そのまま放置するとステンレスがさびることがありますので、こまめにお手入れください。(お手入れのしかたは ➡ P.9)

お手入れと点検について

お手入れの方法

ウォータークーラーは飲物を入れるものですから、いつも清潔にしておいてください。また長持ちさせるためにも定期的にお手入れしてください。
お手入れするときは、必ず電源スイッチを“切”にして電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

本体表面のお手入れ（週に 1 回程度）

●柔らかい布でふいてください。
汚れのひどいときは柔らかい布に中性洗剤を入れたぬるま湯を含ませてふいたあと、洗剤分が残らないようきれいな水を含ませた柔らかい布でふきとってください。

●直接水をかけないでください。
水がかかると絶縁が悪くなったりさびの原因となります。

●塗装面やプラスチック部品を傷めるため、次のようなものは使わないでください。
シンナー・ベンジン・アルコール・石油・粉石けん・みがき粉・アルカリ性洗剤・熱湯・たわしなど。

●化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

●電源スイッチなど電気部品やその周囲はかたく絞った布でふいてください。

タンク内側のお手入れ（初めてお使いになるときおよび毎日）

●常に新鮮な飲物をお使いいただくために、毎日食器洗い用洗剤とナイロンタワシなどで清掃し、残った水をきれいなふきんでふきとってください。

⚠警告

●濡れた手で電源プラグなど電気部品に触れたりしない。
感電の原因になります。

●水をかけない。
電気部品の絶縁が悪くなり、感電・火災の原因になります。

●電源プラグの刃及び刃の取り付け面にほこりが付着している場合はよくふきとる。
ほこりでショートしやすくなり、火災の原因になります。

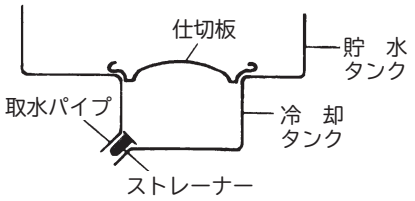
●電源コードや電源プラグが傷んでいたりコンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。
感電・ショート・発火の原因になります。

お手入れのポイント

タンク・仕切板・ストレーナー（初めてお使いになるときおよび毎日）

●タンク内・仕切板は衛生的にお使いいただくために毎日食器洗い用洗剤とナイロンタワシなどで清掃してください。
耐食性のよいステンレスを使用していますが、長くご使用になりますと不純物が付着しさびたように見え、そのまま放置しますとステンレスが侵されることがあります。不純物がおちにくいときはクレンザーなどで洗浄してください。

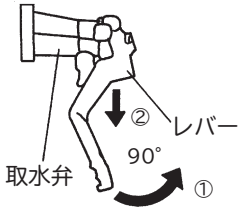
●ストレーナーが詰まりますと水の出が悪くなります。毎日取りはずして水洗いしてください。

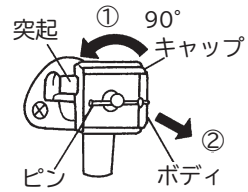


取　水　弁（週に 1 回程度）

取水弁に不純物が付着すると水切りが悪くなります。また清潔にお使いいただくためにも週に 1 回程度、次の要領で水洗いしてください。

①タンク内の飲み物を取り出します。
②取水弁カバーをはずします。（はずしかたは ➡ P.6）
③レバーを約90˚手前に持ち上げ、そのまま下へずらして、レバーをピンからはずします。
④キャップを反時計方向に90˚回して、手前に引き抜きます。





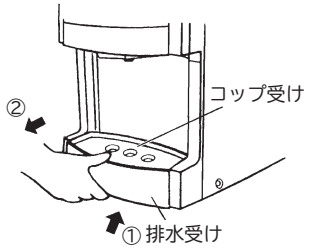
ご注意

●キャップをはずすときは、タンク内の飲物を完全に抜いてください。
残っている飲物が流れて、床を濡らすおそれがあります。

……お手入れと点検について（つづき）

コップ受け・排水受け（週に 1 回程度）

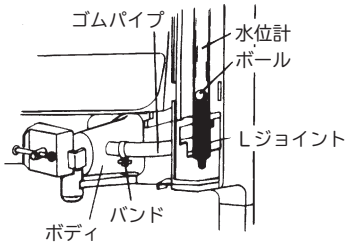
●常に清潔にお使いいただくために、週に１回程度水洗いしてください。
●排水受けに水をためてお使の場合は、溢れないように水を捨ててから、水洗いしてください。

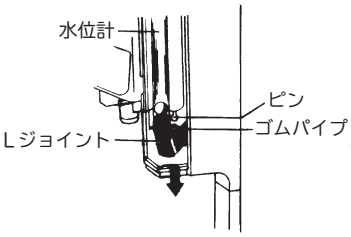


水　位　計（月に 1 回程度）

月に１回程度、次の要領で内部を水洗いしてください。水洗いには、別売のブラシを利用すると便利です。（別売りのブラシは ➡ P.13）

①タンク内の飲物を取り出します。
②水位計カバーをはずします。（はずしかたは ➡ P.6）
③取水弁カバーをはずします。（はずしかたは ➡ P.6）
④取水弁のボディからバンドをゆるめてゴムパイプを引き抜きます。
⑤前カバーのピンから、Ｌジョイントを引き、水位計、Ｌジョイント、ゴムパイプをはずします。このときに水位計の中にあるボールをなくさないようご注意下さい。





ご注意

●ゴムパイプをはずすときは、タンク内の飲物を完全に抜いてください。
残っている飲物が流れて、床を濡らすおそれがあります。

定期点検（年に1、2回）

安心してご使用いただくために、半年～１年に１度定期的に次のような点検を行ってください。そのときもしご不審な点がありましたら、すぐお買い上げの販売店にご連絡ください。

●電源プラグは、コンセントにしっかり入っていますか。
●電源プラグに異常な発熱などありませんか。
●電源コードにき裂や、すり傷がありませんか。
●本体底面の空気吸込口、背面の空気吐出口周囲にほこりなどがたまっていませんか。
●アース線は切れたり接続が緩んでいませんか。

長期間お使いにならないときは

長期間お使いにならないときは、電源スイッチを“切”にし、電源プラグをコンセントから抜き、次の処置をして保存してください。
①タンク内の飲物を取り出し、取水弁、水位計、ストレーナーおよび仕切板をよく洗い水分をふきとり、タンク内をよく乾燥させてください。
②直射日光のあたらない、風通しのよいところに保存してください。ほこりよけの簡単なカバーをかぶせておくと安心です。

サービスを依頼されるときは

故障かなと思ったらまず次のことをお調べください。

●下記のことをお調べになり、それでも具合の悪いときは、すぐにお買い上げの販売店か弊社お客様ご相談窓口にご連絡ください。

こんなときは		ここを確認してください	直しかた
運転しない		電源プラグがコンセントにしっかり入っていますか。	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
		停電やヒューズ、ブレーカーが切れていませんか。	ヒューズが切れている場合は、新しいヒューズと交換してください。 ブレーカーが“OFF”になっている場合は、“ON”にしてください。
		電源スイッチが“切”になっていませんか。	電源スイッチを入れてください。
よく冷えない		周囲温度が35℃以上になっていませんか。	周囲温度が35℃を超えないようにしてください。
		直射日光があたったり、近くにコンロやレンジなどがありませんか。	直接熱が当たらないようにしてください。
		周囲のすき間は適切ですか。	ウォータークーラーの背面は15cm以上すき間をあけてください。
		本体底面の空気吸込口、背面の空気吐出口をふさいでいませんか。	ふさがないようにしてください。
		本体底面の空気吸込口、背面の空気吐出口にほこりや紙くずがたまっていませんか。	ゴミを取り除いてください。
		飲物を補給したばかりではありませんか。	少々お待ち下さい。 飲みごろの温度になるまでの時間が約30分かかります。 ➡ P.8
		タンク内の仕切板が正しく取り付けられていますか。	仕切板を取り付けてください。 ➡ P.6
		電源スイッチが“切”になっていませんか。	電源スイッチを入れてください。
音がうるさい		据え付け面がしっかりしていますか。	床が丈夫なところで使用してください。
		据え付け面が悪くガタついていませんか。	床が水平なところで使用してください。
		ウォータークーラーに何か物が触れていませんか。	ウォータークーラーの周りにすき間をあけてください。
水がにおう		水道水に含まれる塩素の量により、カルキ臭が残ることがあります。	
		使い始めは、樹脂などのにおいがすることがありますが、ご使用とともに少なくなります。	
その他	飲物があふれる	満水目盛以上飲物を入れていませんか。	満水目盛以下に、飲物を減らしてください。
	水が流れるような音がする	異常ではありません。これは冷凍サイクルの中の冷却液が流れる音（シュー）です。	
	氷が出来る	異常ではありません。冷水運転をしているとき、冷却・加熱タンクの内表面温度は 0℃以下になりますので円筒状の氷が生成することがあります。	

保証とアフターサービス（必ずお読みください）

保証書（別添）

保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。なお、保証期間内でも次の場合には原則として有料修理にさせていただきます。

（イ）使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障および損傷。
（ロ）お買い上げ後の取付場所の移動、落下、輸送などによる故障および損傷。
（ハ）火災、地震、風水害、落雷、そのほか天災地変、塩害、公害、ガス害（硫化ガスなど）や異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）による故障および損傷。
（ニ）車両、船舶にとう載して使用された場合に生じた故障または損傷。

保証期間：お買い上げの日から１年間です。（ただし、冷凍サイクル部品は３年間です。）

なお、保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

補修用性能部品の保有期間

ウォータークーラーの補修用性能部品の保有期間は 、製造打ち切り後 8 年です 。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です 。

転居されるときは

ご転居により、お買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または「お客様ご相談窓口」（エコーセンター）➡ P.16 にお問い合わせください 。

修理を依頼されるときは（出張修理）

11ページにしたがって調べていただき、なお異常があるときは、必ず運転を停止して電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください 。

■ご連絡していただきたい内容

アフターサービスをお申しつけいただくときは、下のことをお知らせください 。

品　　名	日立ウォータークーラー
型　　式	RW-1210B・RW-189B （正面操作パネル銘板に記載されている型式をお知らせください）
お買い上げ日	
故障の状況	できるだけ詳しく
ご　住　所	付近の目印等もお知らせください。
お　名　前	
電話番号	（　　）　　－
訪問希望日	

※型式は保証書にも記載されています。

■保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。

■保証期間が過ぎているときは

修理して使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

■修理料金のしくみ

修理料金＝技術料＋部品代＋出張費などで構成されています。

技術料	診断、部品交換、調整、修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器などの設備費、一般管理費などが含まれます。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

仕　様

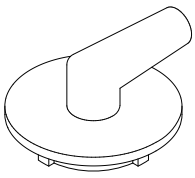
この製品は日本国内用です。電源電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません。
また、アフターサービスもできません。

型　　式	RW-1210B	RW-189B
タンク容量（L）	12	18
外形寸法（mm）	幅300×奥行505×高さ540	幅300×奥行505×高さ600
定格電圧（V）	100	
定格周波数（Hz）	50／60共用	
定格消費電力（W）	176／190	
性能（L/h）	7／8	
製品質量（Kg）	19	19.5

●定格消費電力および性能は周囲温度30℃、入口水温度30℃、出口水温度10℃のときの値です。
●／で示す数値は左が50Hz、右が60Hzの値です。
●本仕様は日本国内の使用においてのみ適用するものです。

別売品

■次の部品を購入する場合は、必ず販売店にお使いのウォータークーラーの型式をご指定のうえ、専用の部品をお買い求めになってください。

こんなときに	商品名	商品型式		希望小売価格
上ふたを取り付けた状態で直接給水するとき	給水継手	RW-125B 024		300円（税別）
水位計の清掃をするとき	ブラシ	RW-124B 013		300円（税別）
連続排水するとき	排水ホース	RW-125B 013	（ホース長さ　1,500mm）	400円（税別）

●上記の希望小売価格は、価格改正に伴い変更する場合があります。

メ モ

メ モ

お客様ご相談窓口

日立家電品についてのご相談や修理はお買い上げの販売店へ
なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに関するご相談は エコーセンターへ

TEL 0120－3121－68
FAX 0120－3121－87
(受付時間)9:00～19:00(月～土)
9:00～17:30(日･祝日)
携帯電話､PHSからもご利用できます。

商品情報やお取り扱いについてのご相談は お客様相談センターへ

TEL 0120－3121－11
FAX 0120－3121－34
(受付時間)9:00~17:30(月~土)･9:00~17:00(日･祝日)
年末年始は休ませていただきます。
携帯電話､PHSからもご利用できます。

- 「持込修理」および「部品購入」については､上記サービス窓口にて各地区のサービスセンターをご紹介させていただきます。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
- 修理をご依頼いただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。
- 上記窓口の内容は、予告なく変更させていただく場合があります。

愛情点検

長年ご使用のウォータークーラーの点検を！

こんな症状はありませんか？	●電源コード、プラグが異常に熱い。 ●電源コードに深い傷や変形がある。 ●焦げ臭いにおいがする。 ●ピリピリと電気を感じる。 ●その他の異常や故障がある。	**ご使用中止**	故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグをはずして、必ず販売店に、点検・修理をご相談ください。費用など詳しいことは販売店にご相談ください。

廃棄時にご注意願います

この製品は、フロン排出抑制法の第一種特定製品です。地球温暖化防止のため、適正にフロン回収する必要があります。この製品を廃棄・整備する場合は、専門業者が行いますので、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
①フロン類をみだりに大気中に放出することは禁じられています。
②この製品を廃棄・整備する場合は、フロン類の回収が必要です。
③この製品で使用しているフロンの種類、地球温暖化係数（GWP）および封入量は製品本体の銘板に表示しています。

お客様メモ

購入年月日・購入店名を記入してください。
サービスを依頼されるときに便利です。

お買い上げ日	**年　月　日**	**型式**	
購 入 店 名	**電話　（　）**		

日立アプライアンス株式会社
〒105-8410 東京都港区西新橋 2-15-12　電話（03）3502-2111

RW-1210B・RW-189B Ⓐ